



衣川 良介

## 『磁石につく石ころ 20』

8月25日、大阪府の寝屋川市から家族5名で『鉄のふしぎ博物館』へご来館。何度かご予約のメールを頂いたのですが、なかなか都合がつかず、この日になってしまいました。小学5年生の息子君が磁石にひつつく石ころを発見。お母さんと一緒に自然博物館などに出かけ問い合わせるが、はっきりとした回答が得られなかったそうです。インターネットで『鉄のふしぎ博物館』のことを知りわざわざ来館されました。

お父さん・お母さんと子供3人。お母さんは考古学に興味があり遺跡の発掘調査なども行われたと聞きました。私が集めた磁石につく石ころ、近所の市川や神河町（兵庫県）、ヒスイ海岸（富山県）のもの、尻屋崎（青森県）・讃岐石（香川県）など興味を持って見学され、翌日メールを頂きました。その内容は以下です。

帰り道、衣川さんがおっしゃっていた市川で石を探してみました。本当に磁石にくつつく石がたくさんあって、子供も私もびっくりしました。石だけでなく、普通の砂までもくつつくんですね。見た目は普通の砂がくつつくなんて本当に不思議です。下の写真は全部磁石でくつつきます。

兵庫県立『人と自然の博物館』で、磁石に着く石や花崗岩を探すなら、千種川まで行かないと無いです・・・と言われてあきらめていたので、市川で見つけられて感動しました。

私は強力なネオジウム磁石で石ころをひつつけていますが、このご家族は『ピップ エレキバン』の小さな磁石にボンドで糸をつけ、強力磁石の替わりをされていました。疑問を持ち、工夫しながら確認される姿勢に感心しました。このメールの続きには、子供さん達が『鉄と石』を夏休みの自由研究に仕上げられたそうなので、学校から返却されたらコピーを頂くことにしました。もう一つ、寝屋川市で採れた褐鉄鉱をお送り頂けるそうなので、楽しみに待っています。

ちなみに、磁石につく石ころは花崗岩・安山岩・玄武岩の一部とそのほかにも沢山あると思いますが、現在確認したものは以上です。石に詳しい方のご指導を得たいと考えています。



磁石についた市川の石ころ



『鉄のふしぎ博物館』開館  
来て！見て！ふれて！ ふしぎ体感

鉄を見る目が変わりますよ。  
ぜひお越しください。



ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>  
[ryou@memenet.or.jp](mailto:ryou@memenet.or.jp)  
[bike@kanamonoya.co.jp](mailto:bike@kanamonoya.co.jp)

むらの鍛冶屋®



見学にはご予約が必要です。申込書をメール又は FAX でお願ひします。  
様式は以下にあります。

<http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/museum/hushigi.doc>

何でもお気軽にお尋ねください！！